

令和6年度 第1回 小櫃・上総地区公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和6年5月14日(火)

午後3時から午後4時30分終了予定

場 所 小櫃公民館 2階研修室

1 開 会

2 三橋委員長あいさつ

3 石井館長あいさつ

4 報 告

(1)報告事項その1 令和6年度 公民館運営審議会の進め方について

(2)報告事項その2 各公民館事業と「経営指針」および修繕・備品購入計画について

5 協 議

(1)協議事項その1 モデル事業について

審議テーマ:「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」

・令和6年度に評価していただく各館のモデル事業について

・評価シートについて

6 その他

・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会(公運審連)の動きについて

7 閉 会

令和6年度 第1回小櫃・上総地区公民館運営審議会

資 料

小 櫃 公 民 館
上 総 公 民 館

令和5年度～6年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会について

令和6年4月 一部変更加筆

1 公民館運営審議会とは

公民館運営審議会（以下「公運審」）は、社会教育法及び君津市公民館条例の規定に基づいて設置される公民館長の諮問機関です。君津市教育委員会から委嘱され、任期は一期2年です。君津地区（君津中央・八重原・周西・周南）、小糸・清和地区、小櫃・上総地区の3つの審議会があります。

小櫃・上総地区公運審は8名の委員で構成されています。委員には、市民の学習の場・憩いの場である公民館をより良くするために、市民の代表として様々な立場から、主催事業や施設など、公民館運営全般について、地域に望ましい運営がなされているか調査・研究し、市民の要望や意見等を述べていただく役割があります。また、各地区の公運審のほか、君津地方（木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市）の委員で構成される君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会（君公運審連）の会員として、研修会等に参加いただいています。

過疎化と少子高齢化が進む小櫃・上総地区で、地域活性化や持続可能な地域づくりを目指すために、専門的な分野の視点を持つ委員と広く社会的な見識を持つ学識経験者、自治会・地域団体等の地域で暮らす住民によって委員が構成されることが望ましいと考えています。

【委嘱の根拠と選出分野】

（1）根拠

社会教育法第30条及び君津市公民館の設置及び管理に関する条例第6条

（2）選出分野

- 1 学校教育の関係者
- 2 社会教育の関係者
- 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 4 学識経験のある者

【小櫃・上総地区公民館運営審議会委員選出区分について】

（1）社会教育・学校教育関係者

小中学校の統合により、コミュニティのあり方に大きな変化が予測されます。地域の教育関係者として、他の施設や分野との連携も視野に入れ、地域の教育力を持続させるために、幅広い視点や地域の実情に即した意見をいただきたいと考えます。

（2）自治会・地域団体・NPO等

子ども達の健やかな成長や住民の活力増進の担い手、また地域住民の代表として、公民館と地域をつなぐ橋渡しとなる意見をいただきたいと考えます。

（3）家庭教育関係者

当事者の声に寄り添うコミュニティづくりを目指すために、子どもを取り巻く地域や諸行事のあり方について、子育て経験者の視点から意見をいただきたいと考えます。

(4) 学識経験者

複雑化・多様化する地域課題の中で、先進事例や学術的見地から、小櫃・上総地区に必要な学習課題は何か、また誰もが暮らしやすい地域づくりと公民館のあり方を考えるための意見をいただきたいと考えます。

2 小櫃・上総地区公民館運営審議会の方向性

【近年の小櫃・上総地区公民館運営審議会 審議テーマ】

- ・平成29年度・30年度：『子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくりに寄与する公民館事業』の実現に向けて（意見書）（平成31年3月14日）
 - ・平成31年度・令和2年度：「学校と地域を結ぶ公民館事業のあり方について」
 - ・令和3年度：「地域と学校の協働活動による全員参加型社会を目指す公民館のあり方について」（意見書）
 - ・令和4年度：「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」（意見書）
- これまでの審議で示された公民館運営のあり方や主催事業の方向性に基づいて、審議を継続的・発展的に展開する必要があります。

(1) 令和5年度～6年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会で重視すべき点 審議テーマ「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」

人口減少と高齢化の影響から、今後、自治体や地域の再編が進んでいくなかにおいて、「小さな拠点」と「地域運営組織」といったキーワードが出されています。

「小さな拠点」とは、「小学校区など、複数の集落が散在する地域（集落生活圏）において、商店、診療所などの日常生活に不可欠な施設・機能や地域活動を行う場所を集約・確保し、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく、集落地域の再生を目指す取組」と定義されています。「地域運営組織」とは、「地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織」と定義されています（内閣府 HP より）。

令和4年度から実施している君津市総合計画においても、「拠点づくり」が掲げられ、小櫃・上総地区の方向として「小櫃駅周辺の拠点機能の充実」「JR久留里線と国道410号バイパスの整備を生かした拠点機能の充実」などが列記されています。市制施行50年が経過するなかでも色濃く残る地域性と、災害時対応に備えた危機管理体制の強化等からも、地域の拠点形成への期待がこれまで以上に高まっています。

少子高齢化、グローバル化、ポストコロナ等社会変化のなかで今後、公民館等再整備やまちづくり協議会の設立が進められていくにあたり、公民館が「小さな拠点」形成のための中核的役割として、特に地域住民による課題解決と地域活性化に向けて、どのような運営や事業を展開していくかが問われています。

(2) 令和5年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会の議論の経過

今期の小櫃・上総地区公民館運営審議会では、小櫃・久留里・松丘・亀山それぞれの地域が抱える課題をいかに捉えていくか、住民による課題解決を目指すための取り組みや、地域が活性化していく拠点としての公民館のあるべき姿について議論していくため、令和5年度は以下のとおり、運営審議会を進めてきました。

○審議テーマ

第2回 審議テーマにおける公民館の現状報告

【小櫃公民館】

- ①小櫃公民館の現状：小櫃地区の主な公共施設、人口動態（平成24年度と令和4年度比較）、利用状況（平成30年度と令和4年度比較）、アンケート結果（小櫃地区公民館再整備に関するアンケート）
- ②地域活性化に資する主催事業、団体支援・学校連携、地区の活性イベント

【上総公民館】

- ①上総公民館の現状：上総地区の主な公共施設、人口動態（平成24年度と令和4年度比較）、利用状況（平成30年度と令和4年度比較）
- ②地域活性化に資する主催事業、団体支援・学校連携、地区の活性イベント、観光資源

第3回 審議テーマにおける先進事例・各館報告

- ① 「地域活性の拠点としての公民館運営・事業～白石市斎川公民館の取り組みから～」(宮城県白石市まちづくり推進課 佐々木さつき氏)

- ・ 白石市の概要
- ・ 公民館の状況：中央公民館1（市直営）、地区公民館8（地域組織が指定管理）
- ・ 斎川公民館の取り組み「斎川地区公民館を核とした住民主体の地域づくり」
小中学校廃校によって地域存続への危機感→ころ柿体験教室（地域おこしのイベントで生まれる活力はその日だけ）→「白石笑顔未来塾」をきっかけに住民主体の地域づくりに向けた学習会「きらり斎川笑アップ塾」→全住民アンケート調査、若者会議(中学生～29歳)、LINEの利用(公式アカウント作成)・高齢者向けLINE講習会、中堅世代会議(30～49歳)、行事・会議・組織の棚卸、地域円卓会議(住民と行政が高齢者の買い物・足問題について報告)・移送支援実験、役職の統合と行事の掛け合わせ、公民館講座「さいかわ宝ものMAPづくり」・斎川楽しみ隊、
- ・ 白石市の地域づくりの施策

総合計画にて地域づくり計画（地区ごとに住民が「まちづくり宣言」策定→地区計画策定＝人と地域が輝く未来共創交付金※地域が裁量権限をもつ）

- ② 「上総公民館のあり方に関するアンケート」結果

- ・ 利用したいと思える取り組み：「公民館のイベントや事業を充実させる」、「地域で活動しているサークル活動の情報を容易に入手できるようにする」が上位

* 「ふれあい教室」のなかで子どもたちがやりたいことやれる回があると楽しさを感じてもっと公民館を利用してくれるのでは。子ども向けイベント「あそんべ祭り」など土日利用で子育て中のお母さんたちも一緒に参加できるイベントを考えてもらいたい。(小泉委員)

- ・ 公民館の役割：「サークルなど人々の活動場所を提供する役割」、「地域における仲間づくりや結びつきを深める役割」が上位
 - ・ 主催講座で期待する内容：健康学習、地域活性・まちづくり、趣味、高齢者福祉、防災・減災が上位
- ③ 小櫃地区拠点施設のワークショップの資料から、ハード面以外にも着目
- ・ 用がなくても立ち寄ってもらえる公民館づくりへの視点（大人版ちょボラの会）
 - ・ 「介護家族のひろば」の検討を契機に、高齢者向け既存事業の関連付けの視点
 - *対象者が同じであれば一度コラボしてみるのも良いのでは。白石市での役員統合や業務の掛け合わせのように、やっていることが同じだったりするなら統合したり一緒にやってもいいのでは。ただし、介護家族の場合は参加した当事者にも聞きながら運営等も掛け合わせを検討した方がいい。（丸山委員）
 - *いろんな話し合いをする場所が公民館。ただ事業が年1回この日この時間しかやらないと指定されていると高齢者ばかりが参加して同じ話になるのが小櫃の現状。白石市の取り組みのようにやり方を工夫して、同じテーマでも別の時間で開催して手間をかけてまとめてバックしていく過程を経て、地域と家庭をつなげていかないと利用者が減ってってしまう。（三橋委員）

○「令和8年1月実施20歳のつどい」にかかる懸案事項についての意見

いただいた意見について、生涯学習文化課に提出しました。以下、ポイント列挙。

- ①会場について：上総地域交流センターの場合、上総小櫃中学校の場合と両論あり
 - ※会場の最終決定は教育委員会判断となります
- ②実行委員会について：地域別の選出にこだわらず、有志を募る方式（中学校卒業時に意識付けしておくことも必要）
- ③来賓について：統合案に賛成多数（実行委員会で決定すべきとの意見もあり）
- ④事務分担：各館に担当を配置する案に賛成多数
- ⑤その他・全般に関して
 - ・対象者の主体性を活かす前にまずは本来のつどいの目的に立ち返ったうえで行事のあり方を見直す必要がある。
 - ・地域感情に配慮するなら各地区の公民館でささやかながら実施するのもあり。

[令和5年度～令和6年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会 実施計画(案)]

令和5年度				
日時	第1回 5月15日(月) 15:05～16:40	第2回 9月12日(火) 15:00～17:05	第3回 12月8日(金) 14:00～17:05	第4回 3月19日(火) 14:30～16:35
会場	生涯学習交流センター	小櫃公民館	上総公民館	松丘コミュニティセンター
議題	①正・副委員長の選出について ②令和5年度小櫃・上総地区公民館運営審議会について ③今後の公民館運営審議会の進め方について ④令和5年度公民館事業計画及び修繕・備品計画について	報告①各館「経営方針」について 報告②各公民館事業所中間報告(～8月) 報告③文化祭について 協議①審議テーマにおける公民館の現状報告 協議②令和8年実施の「20歳のつどい」の開催-現状と今後の見通し-	報告①各公民館事業の中間報告(9～11月) 協議①「20歳のつどい」について 協議③審議テーマにおける事例報告	報告①各公民館事業の報告(12～3月) 報告②令和8年度実施20歳のつどいにかかる懸案事項について 協議 令和6年度評価予定の各館モデル事業について
備考	開催前に委嘱状交付式実施	公民館整備計画 WS	公民館研究大会案内	
令和6年度				
日時	第1回 5月14日(火) 15:00～16:30	第2回 9月10日(火) ※15:00～17:00 開催時間変更の可能性あり	第3回 12月10日(火) ※14:30～16:30 開催時間変更の可能性あり	第4回 3月18日(火) ※15:00～17:00 開催時間変更の可能性あり
会場	小櫃公民館	上総公民館	亀山コミュニティセンター	小櫃公民館
R5案	①今年度公運審の進め方について ②各公民館年間事業計画について ③審議テーマにおける取組又はモデル事業の提示	①各公民館事業の中間報告(8月まで) ②審議テーマにおける取組・事業の報告並びに評価	①各公民館事業の中間報告(9～11月) ②「文化祭」「20歳のつどい」の報告 ③意見書内容について協議	①各公民館事業報告(12～3月) ②意見書の提出
議題	①今年度公運審の進め方について ②各公民館年間事業計画について ③モデル事業について→小櫃2事業、上総1事業 ④評価シートについて(記入方法等) ※評価シートは8/20までに当該事業実施館へ提出	①各公民館事業の中間報告(8月まで) ②評価シートとりまとめ→審議テーマにおける取組・事業の報告並びに評価	①各公民館事業の中間報告(9～11月) ②「文化祭」「20歳のつどい」の進捗 ③意見書(案)について協議	①各公民館事業報告(12～3月) ②意見書の提出
備考				

小櫃公民館

1 基本方針

- (1) 地域住民が心身ともに健康であり続けるために公民館事業を展開し、学習・文化・社会体育活動の発展を図る。
- (2) 地域住民の学習・交流・活動の拠点をめざし、地域の課題に根ざした公民館活動を展開することで、地域住民の誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らすことのできる社会づくりを目指す。
- (3) 地域住民が身近な場所で学習し、また、新たに人とのつながり方や関わり合う機会を創出するため、様々な交流の手法を効果的に運用して地域の活性化を推進する。

2 令和5年度の成果と課題

【成果】

- (1) 「おびつスマイルサロン “いーね”」での認知症ケアに関する学習機会が契機となり、関係者ととともに、派生事業「介護家族のひろば」の実施に向けて具体的な企画検討を進めることができた。「介護家族のひろば」は、介護する側の家族ケアの機会—介護者同士が集い心のケアを図る＝「ピアカウンセリング」—を創出するものである。
- (2) 「介護家族のひろば」を実施することにより、高齢期にある住民をとりまく環境整備について、公民館事業としてトータルで取り組むことが可能となった。高齢化率が進む当地域にあって、誰もが生き生きと住み続けるためのサポート体制を、関係者ととともに推進していく準備を進めることができたのは大きな成果である。

【課題】

- (1) 当館再整備にかかるアンケートやワークショップでの意見交換において、住民ニーズのキーワードとなったのは、用がなくても来られる公民館づくり、であった。具体的には、ロビーや図書室を子どもの居場所・遊び場として交流可能な空間にすること、大人も同時にくつろげる雰囲気醸成すること、である。これを踏まえ、施設の再整備に先んじて、住民（有志）とともに着手可能なところから公民館環境の「快」善を図り、これを小櫃公民館の将来的な再整備に対する住民意識の高揚へつなげたい。

3 令和6年度の重点目標

- (1) 公民館活動に関わる人の裾野を広げ、利用しやすい施設環境の整備を推進する。
- (2) 青少年の健全育成のため、その活動を支える地域の輪(和)づくりを支援する。
- (3) 団体・サークルの育成・支援に努め、地域のネットワークづくりを推進する。
- (4) 情報の収集・整理・発信を通じて地域活性化を目指す。
- (5) 開館50周年記念事業の実施を通して今後の公民館のあり方と展望を探る。

4 令和6年度の重点取組分野及び主な予定事業

- (1) 「いきいきシニアプロジェクト」

小櫃公民館では参加者のニーズに応じ、アクティブシニア向けの「ほほえみ学級」と、よりマイルドな内容の「おびつスマイルサロン “いーね”」を整備している。

今年度は新たに、介護する側の家族ケアの機会創出として「介護家族のひろば」を実施し、高齢者を取り巻くサポート体制の整備を図ってゆく。

※主な予定事業「介護家族のひろば」、「おびつスマイルサロン“いーね”」、「ほほえみ学級」

(2) 「ゆるやかなつながりによる『ふらっとホーム』事業」

住民とともに着手可能なところから公民館環境の「快」善を図る。コロナ禍で低調となった公民館活動を、再び地域活性の拠点として機能させていくことを念頭に置きつつ、「快」善事業参加者の負担感軽減を図り、継続可能な活動とするために、まず参加する当人が楽しみながら推進できるよう注力する。

※主な予定事業「ちょボラの会」

なお、(1) (2)ともに小櫃・上総地区公民館運営審議会評価対象のモデル事業である。

5 令和6年度の事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	小櫃・上総地区公民館運営審議会	小櫃・上総地区の課題に向き合って住民の意見を取り入れ、民主的で活力ある公民館の運営を図る。※令和5・6年度は小櫃公民館が事務局。	5～3月 年4回	委員8名	

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
2	利用者懇談会	団体活動の充実と利用者団体相互の交流・連携を深め、公民館の民主的運営を図る。	7月11日 ・1月 計2回	利用団体・ サークル・ 公民館職員	
3	館報「おびつだより」の編集・発行	住民有志の編集委員会を設け、地域の学習・文化・暮らし等を取材・編集し、親しみやすい紙面づくりを目指す。	6～3月 年4回発行	印刷部数 1,700枚 地区毎戸配布	編集委員 5名
4	※開館50周年記念文化祭 第50回小櫃地区文化祭	豊かな地域文化の創造と活力ある地域社会づくりを目指して、各種団体と個人の文化活動、公民館事業の成果等を発表・展示し交流を図る。第一日目に開館50周年記念式典を開催する。	実行委員会 3回 開催日 10月26日 (土)、27日(日)	地域住民	文化祭実行委員会
5	※開館50周年記念事業 おびつ里山コンサート	地域住民が文化芸術活動を身近な場所で楽しみ、誰もが気軽に参加できるコンサートとして実施する。	12月頃 1回	市民	
6	おびつ地域ミニシアター	館外にも出向き、自治会館等の施設で映画会を実施する。	随時	地域住民	

7	(仮) ちょボラの会	参加者自らも楽しみつつ、ボランティア活動を通して公民館の環境「快」善を実施し、さらに施設再整備に向けて地域の機運促進を図る。	随時	地域住民	公運審モデル事業
8	団体支援事業	地域団体の支援に関わり、地域活性化を図る。 〔公民館利用者連絡協議会／小櫃の元気なこどもを育てる会／地域団体・サークル〕	年間を通して	サークル・団体	
9	学校支援・連携事業	学校教育と社会教育が連携することで、地域ぐるみの子育て環境醸成を目指す。 〔「総合的な学習の時間」支援／小学校 1000ヶ所ミニ集会 他〕	総合学習支援：4～6月 ミニ集会支援：1月	生徒・児童、地域住民	
10	地域団体連携事業	地域団体への支援・連携を通じて、持続可能な団体運営と地域の活性化を目指す。〔「七夕長谷川ホテル谷フェスタ」／「小櫃地区ふるさと祭り」／小櫃地区社会福祉協議会〕	随時 7月@日	団体・地域住民	
11	おしゃべりウォーク	様々な世代がおしゃべりしつつ歩き、交流する機会として開催。毎回テーマに沿ったコース（6～8km）を選定し、固有の歴史や背景も紹介することで、小櫃地区の魅力の再発見につなげる。 ※体育協会・スポレク推進員・スポーツ推進員と連携。	2月	地域住民	
12	君津市公民館連絡会・8館連携事業	オンライン会議サポートキャラバン「オンライン会議のイロハ～Zoomの使い方～」を実施し、サークルや地域団体の活動を支援する。「まちづくりふれあい講座」として実施する。 ※今年度が実施最終年。	通年	サークル・地域団体	

(3) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
13	子ども会等関係者会議	青少年の指導に関わっている団体と、公民館や学校等の教育関係機関が一堂に会する機会を設け、情報共有と課題の解決を図る。	5月30日 (木)	保育園、小・中学校、子ども会、青少年相談員他	
14	こどもひろば	遊びや運動などの体験学習の提供を通じて、“子どもの居場所づくり”を進める。 ※小櫃小学校学童クラブとの連携あり。	通年	小学1～6年生	

15	おびつっ 子チャレ ンジ	実施期間を限定し、様々な体験活動を通じて、子どもの創造性を育む機会創出を図る。	9～12月	小学1～6 年生	
16	青少年相 談員連携 事業	子どもと地域の大人がともに交流できる体験活動を青少年相談員と共催で企画・運営し、青少年の健全育成を図る。	1月中	主として小 学生	
17	子どもキ ャンプ	親元を離れた共同生活の中で、責任感や思いやりの心、感謝の気持ちを学び、子どもたちの人間性を高める機会としてキャンプを青少年相談員と共催で実施する。場所は前原海水浴場、稲ヶ崎キャンプ場を予定。 ※事前（7月7日（日））にオリエンテーションを実施する。	7月20日 （土） ・21日（日）	小学4～～ 6年生	
18	20歳のつ どい	人生の節目を迎える20歳の青年が、大人としての自覚を持ち、また、地域の人々との交流を深める機会として位置づけ、青年教育の推進と地域の活性化を図る。 ※実行委員会会議は9～2月に実施する。	令和7年1 月12日 （日）	旧小櫃中学 校区の対象 者	

（4）課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
19	「小櫃ま るごと博 物館」 構想事業	小櫃地域住民の営みによる地域資源の記録化と活用を通して、地域の活性化を図る。 ※「小櫃学」と連動実施。	通年	地域住民	
20	地域学習講 座「小櫃学」	「小櫃」にこだわり、地域の資源や文化を再発見できるよう機会を設ける。	11月30日 （土）	市民	移動手 段：生涯 学習バス
21	趣味教養 講座	公民館活動の入門編として、親しみの持てる参加しやすいテーマを取り上げ実施する。	4回程度	地域住民	
22	おびつス マイルサ ロンいー ね	福祉に関わる様々な地域団体と手を結びながら、支え合い活動の体制づくりを進めるために「サロン活動」を展開する。 ※小櫃地区社会福祉協議会等と連携。	4月～3月 第3金曜	地域住民	
23	介護家族 のひろば	介護者同士が集う場をつくり、心のケアを図る（ピアカウンセリング）。	6月6日 （木）、11月	介護者等	公運審モ デル事業
24	小櫃地区 防災講座	地域の防災意識の向上、共助の関係づくりの一助を担うことを目的に実施する。 ※自治連協と共催。	6月16日 （日）	地域住民	
25	子育てサ ロン「おび つな」	地域の人間関係づくりのため親子の交流と学習の機会を提供する。	6～2月 9回	乳幼児とそ の保護者	コアラル ームと連 携

26	学びなおし事業「デジタル活用講座」(デジ活)	個人の要望と社会の要請に応えるために実学的な内容を取り上げ、新たに必要とされる知識や能力、技術等を学習する機会にする。	年4回	地域住民 15名程度	
27	地域人権講演会	人権についての啓蒙活動として企画・運営する。		市民	
28	高齢者学級 ほほえみ学級	高齢者が生きがいをもち、学び、交流する場とする。	6～3月 10回程度	60歳以上の 地域住民	

(5) その他

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
29	施設の提供	住民の学習と集団活動の拠点としての役割を果たし、個人利用にも対応する。	通年	市民	
30	図書館サービス	地域の読書推進を図るとともに、地域住民とともに図書室の環境整備に着手し、PRにも努める。	通年	市民	
31	備品・設備の充実	施設環境の整備に努め、必要な備品を購入し、機能性の向上に努める。	通年	市民	
32	社会体育活動の援助	日常生活のなかにスポーツを取り入れ、健康維持や体力向上を推進する。公民館ほか小櫃スポーツ広場等。	通年	各スポーツ 団体・住民	
33	開館50周年記念事業実行委員会	開館50周年の節目にこれまでの地域の歴史や公民館の歩みを振り返り、今後の展望を描く。 ・記念式典(文化祭同日) ・記念誌発行 ・記念コンサート 等	実行委員会 4～11月	地域住民	50周年記念事業実行委員会

上総公民館

1 基本方針

- (1) 地域住民の身近な学習・交流の拠点施設として、様々な年代が利用しやすい公民館を目指す。
- (2) 地域の実態や課題に根ざした公民館事業を推進し、学習意欲と自治能力の向上を図り、地域活性化と文化活動の発展を目指す。
- (3) 他機関・団体と積極的に連携・交流を図り、地域の豊かな人間関係作りと共同の輪作りを進める。

2 令和5年度の成果と課題

【成果】

第51回上総地区文化祭を実施し、文化振興と交流促進に取り組むことができた。

また、本館事業として、趣味教養講座「四季の味を楽しむ教室」、松丘分館事業として、趣味教養講座「パッチワーク講座」を実施し、講座終了後の自主サークル化に結び付け、地域の学習・文化活動の活性化を図ることができた。

【課題】

少子高齢化や人口減少の影響を考慮しながら、過疎が進む中でも活力のある地域づくりを目指す役割が求められている。そのためには、公民館が学びを通じた地域づくりの拠点としての役割を果たす必要があり、事業の見直しや広報等の工夫、また、定期利用サークルや団体等が当館を活動拠点としたいと思えるような関係づくりもさらに構築していく必要がある。

3 令和6年度の重点目標

- (1) 地域住民を大切にする公民館運営の推進と施設整備
 - ① 公民館運営審議会、利用者連絡協議会、分館事業推進委員会等との積極的な意見交換を行い、地域の実情や課題を探り、公民館運営や事業に反映させる。
 - ② 幅広い年代が参加しやすい事業に取り組み、身近な地域活動・交流の拠点として、広域な地域性を踏まえ様々な年代や層が活動し易い施設整備を進める。
 - ③ 住民、団体、機関等との話し合いの場を積極的に設け、地域全体で公民館を活用する力量を高めるための助言や支援を行い、互いの信頼関係を深める。
 - ④ 地域活性の拠点としての公民館運営のあり方・役割等について、公民館運営審議会等で検討を進める。
- (2) 地域課題に積極的に取り組む事業作りと誰もが参加しやすい学習の機会作り
 - ① 地域課題や文化について学ぶ機会を積極的に取り入れ、話し合いや調べ学習等の手法を活用し、地域を支える人材を育成する。
 - ② 少子化の現状に即した子育て支援・青少年教育の充実を図り、地域の交流と担い手作りを進める。
 - ③ 住民の学習活動を積極的に支援するため、図書分室の充実と利用促進、地域資料及び情報の収集・活用を図る。
 - ④ ICTを利活用した事業を継続及び推進を図る。
- (3) 広報・周知活動の工夫と充実
 - ① 「公民館だより」及び「分館だより」の紙面の充実を図り、地域の動きを取り上げて、地域に密着した紙面作りを図る。
 - ② ホームページの定期的な更新に努めるとともに、館内掲示板などを積極的に活用し、新たな利用層に向けた公民館事業の情報発信に努める。

(4) 人権学習の充実と地域を支える人材育成とつながり作り

- ①人権意識の向上を目指し、関連機関と連携し、地域特性に応じた人権教育事業を推進する。
- ②今後の地域を支える人材の発掘と育成に努め、人間関係の土台作りを行う。

4 令和6年度の重点取組分野及び主な予定事業

「健康」

昨年度実施した「上総公民館のあり方に関するアンケート」において、今後の事業に期待する内容のトップが「健康」であったことを踏まえ、本館及び各分館の事業として様々な切り口から健康について考え、実習することで、一人ひとりの健康づくりを推進するとともに、地域の活力向上を目指す。

※主な予定事業「みんなイキイキ！食の健康教室」「松丘健康講座」「亀山分館健康関連講座」など

5 令和6年度の事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	小櫃・上総地区公民館運営審議会	公民館事業の企画実施、施設整備、両地区の連携等について調査・研究・審議する。	年4回 (5, 9, 12, 3月)	委員8名	事務局： 小櫃公民館

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
2	第52回上総地区文化祭	豊かな地域文化の創造と市民の交流を目指し、様々な文化活動や地域活動について発表する機会とする。	10月19・20日	公民館利用 サークル ・団体 地域住民	
3	趣味教養講座	地域活動の入門の場として実施し、文化活動の場作りと交流の場を目指す。	時期調整中 2講座予定	成人	
4	上総公民館だよりの発行	公民館主催事業・活動、利用サークル・団体等の活動紹介及び生涯学習情報や地域の話題等を掲載し、公民館と住民とのパイプ役を果たす。	年4回発行 (6, 9, 12, 3月)	上総地区 世帯・ 各機関等	
5	久留里だよりの発行	公民館主催事業・活動、利用サークル・団体等の活動紹介及び生涯学習情報や地域の話題等を掲載し、公民館と住民とのパイプ役を果たす。	年1回発行	久留里地区 世帯配 布	
6	上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室	自分たちの住んでいる地域を自らの足で歩いて確認し、地域の良さや魅力について考える機会とする。	年1回	地区内外の 成人、青少 年等	
7	利用者懇談会	公民館利用者が公民館の役割を認識し、利用しやすい公民館づくりとサークル・団体活動の活性化について学ぶ機会とする。	年2回 (5月、1月)	利用サークル・ 関係団体等	

(3) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
8	公民館DE チャレンジ	スポーツや創作活動を通じ、子ども達の交流と体験活動を行う。	年2回程度	地区内の小学生	
9	子どもキャンプ	自然のなかで共同生活を送り、自然の素晴らしさ、仲間の大切さ、協力して働くことの重要性を学ぶ。	事前研修 調整中 キャンプ 7月20～ 21日	地区内の 小学4～6 年生	上総地区 青少年相 談員連絡 協議会と 共催
10	ふるさとかるた 大会(予選)	市内の歴史や文化について理解を深める場とする。	10月19 日	地区内の 小学生	上総地区 青少年相 談員連絡 協議会と 共催
11	移動研修	青少年健全育成と体験活動の充実、異年齢交流を図る。	6月30日	地区内の 小学生	上総地区 青少年相 談員連絡 協議会と 共催
12	書道大会	公民館の書道サークルに指導いただき、書初めの宿題を実施することで、小学生の健全育成を目指す。	12月22 日	地区内の 小学生	上総地区 青少年相 談員連絡 協議会と 共催
13	20歳のつ どい	20歳の門出を祝い励ますため、3地区(久留里・松丘・亀山)でつどいを実施する。	準備会 未定 つどい 1月12日	20歳を迎 える方	各地区で 実行委員 会を組織
14	自習室開放	地域の青少年の学習の場として会議室等を開放する。	夏休み 中予定	小学校高学 年以上	

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
15	さわやか学級 (高齢者学級)	地域や家庭で健康で生きがいのある生活を送るために、共に学びふれあう場とする。	6月～3月 年10回程度	60歳以上 の方	
16	わいわい広場 (家庭教育関連事業)	地域内の乳幼児を持つ保護者とその子どもの交流を図り、子育てに関する知識や知恵を学ぶ機会とする。	年2回	乳幼児の親子 15組程度	
17	上総人権教育推進事業	下町集会所の活用や地域内の学校との連携等を通して、人権学習の充実と推進を図る。 ・上総子どもふれあい教室の実施 ・地域住民交流教室の実施 ・人権週間関連事業等への協力	通年 年4回 年3回程度 12月	地区内児童 主に上総 地区住民 市民	生涯学習 文化課及び上総 小学校と連携
18	サークルリーダーICT講習会	サークルの役員を対象に、SNSやちば施設予約サービスの活用方法を学習する機会を提供し、サークル活動の活性化を支援する。	3月	主にサークル・団体の役員	
19	みんなイキイキ！食の健康教室	子どもからお年寄りまで、食を通じて健康について考える機会とする。本年度テーマ「高血圧撲滅」	7月～ 3コース	地域住民	令和6年度モデル事業

(5) 分館事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
20	松丘分館事業	身近な場で生活に役立つ学習や事業等を通して、豊かな地域づくりを目指す。 ・第19回松丘ふれあいまつり ・松丘分館だよりの発行 ・分館事業推進委員会 ・松丘探検隊 ・松丘健康講座 ・お飾りづくり講習会 ・その他趣味教養講座の実施	通年 11月9日 6・10・2月 年4回 通年 8・9・10・11月 12月 2～3回	市民	
21	亀山分館事業	身近な場で生活に役立つ学習や事業等を通して、豊かな地域づくりを目指す。 ・第21回亀山ふるさとまつり ・広報かめやまの発行 ・分館事業推進委員会 他 ・健康関連教室 ・チェーンソー・刈払い機メンテナンス講習会	通年 10月5日 6・9・2月 3回 1回 6月16日	市民	

(6) 施設提供・管理、図書、サークル育成・援助・学習相談等

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
22	展示活動	地域情報・学習情報の提供を行う。 ・七夕かざり	通年 7月	来館者	
23	施設利用の促進	様々な学習活動や市民活動がしやすい環境と場づくりを推進する。	通年	市民・在勤者	生涯学習文化課と連携
24	施設の維持管理	施設の維持管理・修繕等を行い、利便性や機能性を維持する	通年	施設	生涯学習文化課と連携
25	図書館サービス	住民や関係機関のリクエスト・相談に応え、読書活動の支援に努める。また図書コーナーの利用促進に関する事業を実施する。	通年	市民・在勤者	中央図書館と連携
26	児童室(保育室)の活用	部屋を活用した子・孫育て世代の交流と学習機会の充実を図る。 ・保育協力者会議の実施	通年 9月	市民 保育協力者	保育協力者と連携
27	スポーツの普及	日常的にスポーツの普及をはかるため、卓球の利用受付を行う。	通年	市民・在勤者	
28	関係団体との連携 団体活動の援助 情報提供等	各種団体・機関と連携し、地域の教育機能を高める取組みを支援する。また地域住民への情報提供や学習活動の相談に応じる。 ・サークル体験会 ・日帰りハイキング ・利用連総会	通年 12月～2月 未定 5月8日	市民諸団体機関等 市民 市民 サークル・団体	

上総地域交流センター

1 基本方針

- (1) 生涯学習・市民の相互交流活動に関連する業務を積極的に進める。
- (2) 小櫃・上総地域を視野に入れ、これまで公民館で培ってきた地域との絆を大切にしながら、幅広い市民の交流の場づくりを進める。

2 令和5年度の成果と課題

【成果】

上総地域交流センターが開館して10年あまりが経過した。近年は台風の大型化に伴い、地域の防災拠点として住民の安心安全を確保する大きな役割を果たしている。

「まちなみ塾」との連携事業については、久留里地域の活性化を目指し、「落語フェスティバル」や「まちなみコンサート」、「鄙の雛展」などを実施した。

県立君津青葉高等学校の協力を得て取り組んでいる「花いっぱい運動」は、上総地域交流センターの花壇等に草花の植栽等をし、地域のより良い環境づくりを行うもので、地元の団体やボランティアの方にも参加していただき2回実施した。

【課題】

マンネリ化しないよう事業の行い方なども検討し、参加者に満足してもらえるような事業を引き続き行い、地域活性につなげたい。

3 令和6年度の重点目標

- (1) 副次核構想の中心となる久留里地区の活性化を推進する。
地域団体や機関、市長部局等と情報交換を図り、地域の活性化につながる場作りを進める。
- (2) 小櫃・上総地区の生涯学習活動・文化活動の活性化につながる事業に取り組む。
まちなみ塾と連携し、様々な世代が参加できる事業を実施する。

4 令和6年度の重点取組分野及び主な予定事業

「地域との連携」

地域の任意団体や学校等と連携し、地域とのつながりを意識し様々な事業やイベントを開催することで、地域活性につなげていく。

5 令和6年度の事業計画

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	「まちなみ塾」との連携事業	久留里地区の活性化のあり方や計画をつくり具体化をはかる。 ◇久留里の打ち水 落語フェスティバル まちなみコンサート 鄙の雛展 他	通年 7月 10月 12月 2月～3月	市民	地域の諸団体との連携
	花いっぱい運動	君津青葉高等学校等と連携し、上総地域交流センターの花壇及び施設周辺的美観整備を行う。	5月、11月 年2回植栽	高校生、地域任意団体等	地域の諸団体との連携

令和6年度 修繕・備品購入計画

【小櫃公民館】

修 繕	1	旧管理室前非常誘導灯 修繕
	2	和室前天井崩落部 修繕
	3	駐車場掲揚ポール 撤去
	4	空調講堂室外機 修繕
	5	1階トイレ洋式化
備品購入	1	ワイヤレスパワースピーカー

【上総公民館】

修 繕	1	駐車場外灯修繕
	2	非常放送設備修繕
	3	突発修繕
備品購入	1	椅子用台車
	2	業務用掃除機

※その他は予算の範囲内で調整中

モデル事業 ①ゆるやかなつながりによる「ふらっとホーム」事業 ～大人版ちょボラの会を核とした小櫃公民館の「快善」～

小櫃公民館

1 事業概要

(1)経緯 「ちょボラの会」とは、`ちょこっとボランティアの会、の愛称で、「What you can do, when you can(=できることを、できるときに)」を合言葉に取り組むボランティア活動である。当館では、令和3年7月5日から令和5年7月4日までの2年間、小櫃在住の高校生1名が、図書室の蔵書整理や特集本の選書、特集コーナーづくりのほか、文化祭では芸能発表の司会を担当してくれた実績がある。

小櫃公民館の再整備計画にかかるアンケート【新たな公民館等に期待することは何ですか？】で、最も多かった要望は、「用事がなくても憩い・くつろげる環境の整備(32.1%)」であった。ワークショップ(令和5年度)においても、ロビーや図書室を中心に、こどもの居場所、遊び場など気軽に立ち寄れる交流空間、くつろげる雰囲気づくりに対する要望が多く寄せられている。

これを受け、まずはロビーワークを中心に、負担感よりも楽しみながら取り組めるよう雰囲気づくりに配慮し、令和6年度より`大人版ちょボラの会、を始動させる。

(2)目的 「楽しさなくして参加なし」の視点から、本事業に携わる大人たちが“楽しむこと”を第一に、公民館をもっと親しみやすく、使いやすいものにするために活動することを通して、子どもから高齢者まで多様な住民が目的なく居合わせることができる空間(用がなくても来られる公民館)づくりに寄与する。また、多様な主体を結ぶことにより地域のにぎわいを創出し、交流人口の拡大を図っていく。

活動を通じて、地域住民が、公民館のあり方について「自分事」としてとらえる気運の醸成(地域に対して情熱・思いを持つ「熱量人口」の増加)にもつなげていきたい。

なお、公民館特有の「集う」「結ぶ／つながる」といういわゆるプラットフォーム的機能と、ふらっと立ち寄れる意味を込めて事業名称を「ふらっとホーム」とした。

2 内容

(1)予算分類 課題解決学習推進事業

(2)期 日 会議 2月29日、3月12日、4月26日、5月23日
以後、不定期開催

(3)会 場 小櫃公民館(ロビー、図書室等)

(4)対 象 当事業に関心のある方

※現在2名を中心に活動し、内容に応じて利用者等に都度声掛けをしていく

(5)内 容 「ちょボラの会」を核にした小櫃公民館の「快善」

(「用がなくても来られる公民館」づくり)

- ・ ロビーに図書コーナーを設置(3月12日以降随時)
 - ・ 図書室内に勉強スペースを設置(3月13日)
 - ・ 小櫃公民館で遊べるカード&ボードゲーム一覧掲示(4月5日)
 - ・ 「ふらっとロビー」ポット・お気持ちボックス等設置(4月8日)
 - ・ 今後のアイデア:マルシェ、健康・運動、自然体験、省エネに関する学習 等
- ※評価にあたっては、随時ロビー等館内を見学いただく形でお願いします。

モデル事業 ②いきいきシニアプロジェクト

～ほほえみ学級・おびつスマイルサロン いーね・介護家族のひろばの展開～

小櫃公民館

1 事業概要

(1)経緯 小櫃公民館では地域の高齢者を対象として、アクティブシニア向けの「ほほえみ学級」(開館当初から開設)と、よりマイルドな内容の「おびつスマイルサロン“いーね”」(令和4年度から開設)と、参加者の体力面やニーズに応じた参加機会を整備している。

「おびつスマイルサロン“いーね”」を企画・運営するなかで、認知症／介護予防の活動の重要性はさることながら、認知症を患っても本人が「生活障害をもちながらどう生きていくか」という課題と共に、介護をする側の家族に対しても、「地域における介護家族へのケア」が必要であることが明らかになったから、今年度より「介護家族のひろば」を実施する。

これら3事業の展開により、今後人生100年時代において、30年以上の高齢期にあっても当事者やその家族がいきいきと過ごすための学びとつながりづくりの拠点としていく。

2 主たる評価対象事業

介護家族のひろば

(1)目的 「おびつスマイルサロン“いーね”」の派生事業として、東部地域包括支援センターおよび生活支援コーディネーターと連携し、介護者同士が情報を交換し、日ごろの思いを吐露できるような場を創出し、それによって介護する家族等にとっての心のケアを図る事業とする(ピア・カウンセリング)。

(2)協力 東部地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、
介護者ネットきみつ、有志

(3)予算分類 課題解決学習推進事業

(4)期日 ①6月6日(木)13:30～15:30 ②11月下旬
※センシティブな内容も含まれるため、参加型評価ではなく後日資料等を送付しますので、書面評価でお願いします。

(5)会場 小櫃公民館 和室

(6)対象 当事業に関心のある方 10名程度

(7)内容 ①話題提供
②茶話会「介護トーク」

(8)周知 自治会回覧、君津市HP等広く周知するほか、ケアマネージャーやデイサービス、病院での掲示を通じて該当者へ直接周知を行う

モデル事業「みんなイキイキ！食の健康教室～高血圧撲滅編～」について

上総公民館

1 事業概要

(1) 経緯

令和5年度～6年度の小櫃・上総地区公民館運営審議会の審議テーマに沿い、これまでに、地域の現状や地域活性に資する事業や活動の検証、また、上総公民館のあり方に関するアンケート調査を実施し、地域の方のニーズ、公民館の役割などの把握に努めてきた。

アンケート調査の結果では、期待する講座として、普遍的なテーマである「健康学習」がトップとなったことを踏まえ、モデル事業の実施について検討した。

(2) 目的

健康において、食は生きていくうえでも必要不可欠であること、また、「医食同源」という言葉もあるように、食は住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らしていくために、老若男女問わず全ての人の健康と密接に関わっている。

市高齢者支援課によると、上総地区は成人（高齢者）の高血圧の割合が高い。一方で、減塩に慣れるなどの食育は、成人（高齢者）だけではなく、子どもの頃からの取り組みが大切だと言われている。

また、上総小学校によると、児童のおよそ50～60%が3世代同居と言われている。家庭での調理を担っている方はもちろんのこと、同居世帯の全ての方が減塩に慣れることが必要であり、世代を越えた取り組みが必要である。

このことから、全世代の方を対象にモデル事業「みんなイキイキ！食の健康教室」を実施し、小学生・中高生・成人（高齢者）の3つの世代に、食を通じて健康を考え、実践する機会を提供する。

そのうち、成人（高齢者）向け事業を評価対象とする。生活習慣病の中でも代表的な病気の一つである高血圧の予防・改善のための食生活について学び、実習することで、健康意識の向上、健康寿命を延ばし、地域活性につなげたい。

(3) 協力 ※交渉中

君津市福祉部高齢者支援課、君津市健康こども部健康づくり課、君津市学校給食共同調理場、君津市食生活改善協議会、千葉県立君津青葉高等学校、明治安田生命保険相互会社

2 内容

(1) 予算分類 課題解決学習推進事業

(2) 期 日 ①【評価対象事業】成人（高齢者）向け

令和6年7月中（2回実施予定）

②小学生向け

令和6年7月から8月中（1回実施予定）

③中高生向け

令和7年2月中（1回実施予定）

(3) 会 場 上総公民館 会議室2及び調理室

(4) 対 象 ①【評価対象事業】成人（高齢者）向け「高血圧改善で健康寿命延

伸 ～孫や子と一緒に料理教室！～」

10組（20名）程度

②小学生向け「一人でもできる！カンタンおいしい料理！」

10名程度

③中高生向け「育ち盛りのあなたへ！ごちそう健康クッキング！」

10名程度

(5) 内 容

①【評価対象事業】成人（高齢者）向け

「高血圧改善で健康寿命延伸 ～孫や子と一緒に料理教室！～」

第1回 大人のみで、座学にて高血圧に関する学習

※「ベジチェック」を実施する。

第2回 孫や子と一緒に、おいしくて楽しい減塩調理実習

②小学生向け「一人でもできる！カンタンおいしい料理！」

君津市学校給食共同調理場のレシピ提供及び上総公民館利用団体「くるりクッキング」の協力により、小学生が一人でも作れ、高血圧を未然に防ぐレシピの学習や調理実習をする。

③中高生向け「育ち盛りのあなたへ！ごちそう健康クッキング！」

君津青葉高校と連携し、農業系列で栽培した作物を使用したり、家庭・福祉系列で学習した調理技術を使用したりして、高血圧を未然に防ぐレシピの学習や調理実習を行う。

※各事業について、文化祭などで学習成果を発表・展示することで、参加者のモチベーションや意識の向上、地域の一体感や連携感の向上も図っていく。